

緑化優良工場等近畿経済産業局長賞受賞工場の功績概要

JNC ファイバース株式会社 守山工場

所在地：滋賀県守山市川田町 230 番地

<https://www.jnc-corp.co.jp/>

業種：繊維製造業

操業開始：昭和38年（1963年）5月

資本金：844百万円 従業員数：190人（2023年4月）

受賞歴：令和2年（一財）日本緑化センター会長奨励賞

- JNC ファイバース株式会社は、環境保全を地球規模の問題と捉えて、環境への化学物質、廃棄物等の排出量削減や省エネルギーに積極的に取り組んでいる。受賞工場である守山工場では、「環境方針」を定め、「地球環境の保全が人類の幸福のための条件である。」の基本理念のもとに、持続可能な環境保全の取組を推進している。
- 同工場は周囲を野洲川河川敷と田園等の豊かな緑に囲まれており、工場立地にかかる各種法令を遵守しつつ、「水を通じた地域と企業の共生」を目指して緑地等の整備を進めてきた。その一環として、工場敷地の周辺部に緑地を配置し、近隣からの緑視率の向上を図るとともに、緑地率の保持および向上にも努めている。生産施設の増設計画により敷地の利用制限がある中でも、駐車場や空き地の緑化を計画するなど、真摯な姿勢で緑化に取り組んでいる。
- 生物多様性に関する取組を積極的に行っており、敷地内に水生生物や鳥類などが生息する通称「びわ湖池」やビオトープを設置している。また、ビオトープについては、設置場所を敷地境界線沿いにすることで、地域住民にも見える形でその重要性の発信を行っている。
- 守山市のシンボルである「ゲンジボタル」の飼育や同市の木である「クスノキ」の植樹など、緑化や環境を通じて、地域と連携した取組を積極的に行っている。また、地域連携の取組の一つとして、年に1回「ホテルの夕べ」というイベントを開催している。同イベントでは、同社で行っているホテルの人工飼育室の見学やゲンジボタルの放流体験、敷地内の環境施設の開放など、地域企業や近隣住民等を招いた緑化や生物多様性の啓発活動を行っており、このような地域との交流を通じて、自社内にとどまらず、地域全体に向けて緑化や環境に対する意識の醸成に取り組んでいる。

